

どんな木に成長するのかな

◎日吉小中学生どんぐりの植ええ体験学習

富永会長の指導の下、種を植える児童



5月16日、森林環境税を活用した事業の一環として、日向谷地区で日吉小学生3・4年生と日吉中学生を対象とした、どんぐりの植ええ体験学習が行われました。

これは、植林によって減少してしまった日吉地区の檜木を増やそうと、鬼北炭焼き会会長・富永汎が主催したもの。この日は、男子中学生が耕した畦に、「アラガシ」という種類のどんぐりを約1,000個、一つ一つ優しく土を被せながら植えていきました。

この畑で育った苗木は、その後山へ植林され、日吉地区の貴重な木材資源として活用されます。

見て、聴いて、食べて充実の1日

◎日吉産地グリーンフェスティバル

アントニオ・カマケ氏の軽快な演奏



「日吉産地グリーンフェスティバル」は5月14日、道の駅日吉産地で開催されました。日吉小学生による武左衛門太鼓の演奏で幕を開けた本イベント。会場内のステージでは、アントニオの民族楽器であるフォルクロレ奏者のアントニオ・カマケ氏によるライブ、日吉コーナチュレルによるコーラスや、輪の会日吉支部による舞踊が披露され、その迫力ある演奏や美しい歌声、そして優雅な舞で、訪れた人を魅了していました。

また、会場内ではさまざまなグルメが軒を連ね、来場者を楽しませていました。

見る人の心を癒す素朴な味わい

◎山野草・山あじさい展

淡く優しい色の山あじさい



5月27日・28日の2日間、広見体育センターで、鬼北山野草会会長・武田國次が主催する「山野草・山あじさい展」が開催されました。

毎年、町内外から多くの愛好者が訪れる山野草展。会員らが丹精込めて育て上げた山野草が、会場を華やかに彩っています。今回は、緑鮮やかな山野草に加え、さまざまな色合い、形をした山あじさいが多数展示され、来場者を魅了していました。

会場内に並んだ個性豊かな山野草の前に、集まった愛好家たちは、言葉を交わしたり情報交換をしたりと、そのひと時を満喫していました。

好プレーの連続！仲間とつなぐ一球

◎第13回町長杯レクバレー大会

アタックを決める選手



5月21日、鬼北総合公園体育館で「第13回鬼北町長杯レクリエーションバレーボール大会」が行われ、全12チームが参加しました。

ひたむきにボールを追いかけて、懸命に手を伸ばし、声を掛け合いながら試合に挑む選手たちの表情は、真剣そのもの。そして、熱戦の末一点が決まった瞬間、その表情は変わり、チームメイトと喜びを分かち合い、満面の笑みを浮かべる選手の姿が、コート上にありました。

主な結果は次の通りです。

▼一般の部①O R E R A ②A C E

▼女性の部①Z ②みらくる

棚田を彩る優しいキャンドルの光

◎穂田るの里の幻灯火

田んぼの畦道を彩るオレンジの光



5月19日から6月3日までの間、金・土曜日限定で「穂田るの里の幻灯火」が、愛治地区大宿の棚田で行われました。毎年、町内外から多くの人が訪れるほど、大好評を博している本イベント。辺りが暗くなり始めた19時30分頃、ペットボトルで覆われた約800本のキャンドルに火が灯されると、温かなオレンジの光が棚田を包み込みました。蛙の鳴き声が鳴り響く中、風に揺られるキャンドルの光と、飛び交う蛍の光。訪れた人たちは、この初夏の棚田を彩る幻想的な世界を堪能していました。

馬と触れ合い、生まれる絆

◎鬼北町乗馬スポーツ少年団入団式

ポニーと一緒に記念撮影



5月28日、北宇和高等学校で、鬼北町乗馬スポーツ少年団「北駒騎士団」の入団式が行われ、新たに13人が入団しました。今年度から名称を一新し、幅広い活動を行っている本少年団。その活動の一環として新たに「ポニークラブ」が創設され、入団の前段階として、小さな頃から馬と触れ合うことができる機会を設けています。式では、団員全員が仲間のために、そして愛馬のために、楽しく協力し、助け合うことを誓い、それぞれが今年1年間の活動に対する決意を新たにしました。

身をもって知る農業の大変さ

◎ふれあい農園事業 古代米田植え

老人クラブの人たちと一緒に田植え



6月14日、泉小学校横の田んぼで、泉小学校児童たちによる田植え体験が行われました。地元の老人クラブや農業公社の協力のもと、毎年実施されているこの田植え。田植え紐を用いた、昔ながらの手法で行われます。全校児童34人と、地元の人たちが横一列に並ぶと、号令に合わせて、田植え紐の目印がけて、一斉に苗を植えていきました。児童たちは、田んぼの泥に足を取られ悪戦苦闘しながらも、昔の田植えの大変さを、身をもって体感していました。秋頃には、稲刈り体験が行われる予定です。

豪華絢爛に彩り、来場者を魅了

◎第45回日吉さつきまつり

さつきに見入る来場者



日吉盆栽会(会長・森下茂)が主催する「第45回日吉さつきまつり」が、6月3日・4日の2日間、道の駅日吉夢産地で開催されました。会場内にはずらりと展示された、約80鉢の色彩鮮やかなさつきの鉢植え。その色とりどりの美しい色合いと、堂々とした佇まいに、訪れた人たちは、「綺麗やね」「立派やね」と、感嘆の声を上げながら、一つ一つじっくりと見て回っていました。さつきの美しさに魅了された来場者たちは、写真を撮ったり、苗木を購入したりと、それぞれがこの日を思い出に残していました。